

タイトル	経済数学入門の入門				
著者名	田中久稔	出版者	岩波書店	発行年	2018
請求記号	081K  2356-3  v.1707	資料ID	1196721		

### ✿先生からの推薦資料紹介✿

数学は様々な分野で理論研究のツールとして利用されています。  
 経済学においても、ノーベル経済学賞の受賞者を見れば、  
 数学がいかに経済学の発展に寄与してきたかがわかります。  
 本書は、まず、1次関数、2次関数という中学・高校で習った数学が  
 経済の分析に役立つことを紹介しています。その後、経済学において重要な概念である  
 「限界」を微分で説明できることへと話が進み、  
 最終章では、自発的失業を動的計画法という手法を使って説明されています。  
 実は、動的計画法はシステム制御工学、強化学習などの工学・人工知能でも  
 重要な役割を果たしています。経済学と工学で同じ数学理論が使われているのです！  
 数学が好きな人が経済学に関心を持つきっかけに、  
 経済に関心をもつ人が数学の必要性を知るきっかけに、  
 そして、数学を敬遠してきた人が  
 数学を身近に感じるきっかけになればと思っています。

